〔耐震スリット材〕

スリットン® PAT 標準図

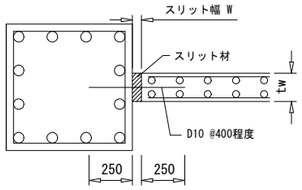
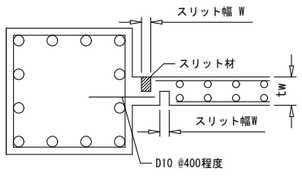
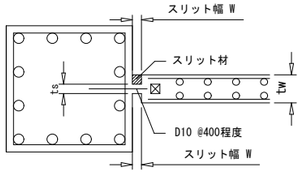
UR都市機構 品質性能基準適合品：一般財団法人 建材試験センターによる評価［品質適合証第TCC0045-2号］

施工方法及び注意事項に関しては、スリットンカタログを参照。

岡　部　株　式　会　社
ドラーフタイト工業株式会社

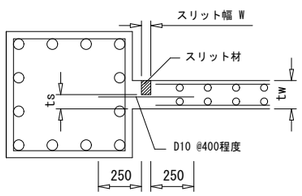
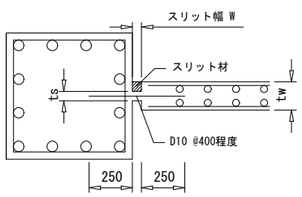
構造スリットの分類とスリット幅

完全スリット型

タイプ	垂直部
Aタイプ	
Gタイプ	「一面せん断型スリット」 
Gタイプ	「二面せん断型スリット」 

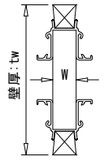
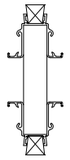
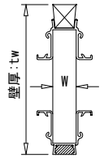
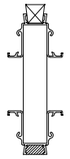
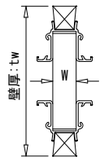
スリットの幅は、原則として層間変形角1/100変形時の腰壁・そで壁等の高さ（又は長さ）に対する変形幅を確保する。
「2015年版　建築物の構造関係技術基準解説書」

部分スリット型

タイプ	垂直部
Gタイプ	
Gタイプ	

垂直スリット（Aシリーズ・Gシリーズ）

Aシリーズ

種別	タイプ	耐火タイプ	
2時間耐火	スリット幅 W	A2-F：25・30・35・40・50	AE2-F：25・30・35
	形状		
	タイプ	A1-F	AE1-F
	スリット幅 W	25・30・35	25・30・35
	形状		
1時間耐火	タイプ	A2-FR（UR都市機構 品質性能基準適合）	
	スリット幅 W	30	
	形状		

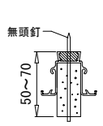
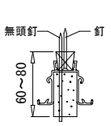
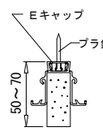
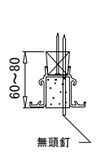
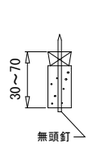
標準目地棒サイズ

A2、A1タイプ		AE2、AE1タイプ
スリット幅 W=25用	スリット幅 W=30,35,40,50用	スリット幅 W=25,30,35共通
25 / 25 / 20	30 / 25 / 25	20 / 20 / 15

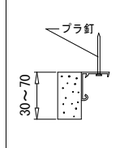
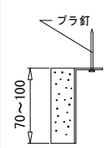
スリット材及び耐火材の仕様

タイプ	スリット材	耐火材
A2・1-F、AE2・1-F	高性能フェノールフォーム	
A2-FR（UR都市機構 品質性能基準適合）	高性能フェノールフォーム＋アルミ箔付発泡ポリエチレン	

Gシリーズ

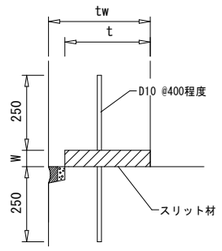
タイプ	G-5	G-6	G-7	G-9	G-10
スリット幅 W	25・30・35	25・30・35	25・30・35	25・30・35・40・50	25・30・35・40・50
形状					

・目地部残存コンクリート厚tsは、壁厚tw/2以下かつ7cm以下。
・目地部残存コンクリート厚tsに対するスリット幅の比(w/ts)は、0.5～1.0。
・完全スリット型及び、部分スリット型のスリット幅は、「2015年版　建築物の構造関係技術基準解説書」による。

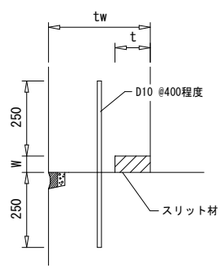
タイプ	G-11(S)	G-11(L)
スリット幅 W	25・30・35・40・50	25・30・35・40・50
形状		

構造スリットの分類とスリット幅

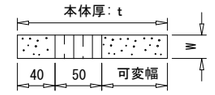
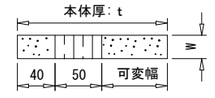
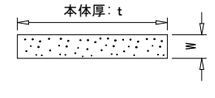
完全スリット型

タイプ	水平部
HWタイプ	

部分スリット型

タイプ	水平部
HWタイプ	

水平スリット（HWシリーズ）

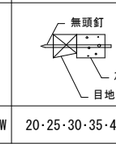
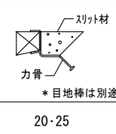
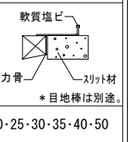
種別		タイプ	形状	スリット幅:W〔mm〕
耐火タイプ	2時間耐火	HW-RW		20・25・30・35・40・50
	1時間耐火（UR都市機構 品質性能基準適合品）	HW-RWR		30
非耐火タイプ		HW-P		20・25・30・35・40・50

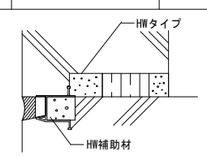
スリット材及び耐火材の仕様

タイプ	スリット材	耐火材
HW-RW HW-RWR	発泡ポリエチレン	ロックウール
HW-P		———

・HWタイプのブチルゴム貼付等の端部仕様は、別紙カタログを参照。

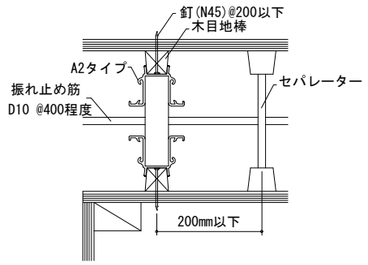
HW補助材

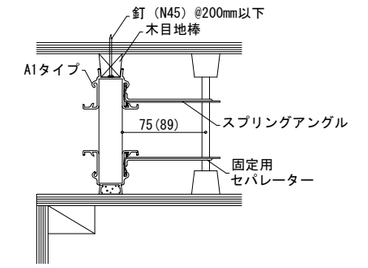
タイプ	HW-G10	HWﾊﾞﾘｱｰ	HWﾊﾞﾘｱｰX	HWﾊﾞﾘｱｰTP
形状		 ＊目地棒は別途。	＊目地棒は別途。	 ＊目地棒は別途。
スリット幅 W	20・25・30・35・40・50	20・25	25	20・25・30・35・40・50

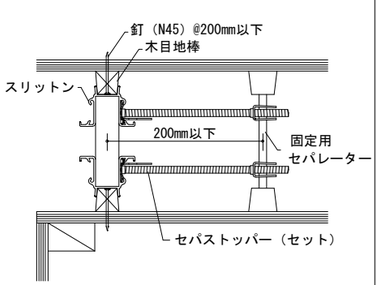


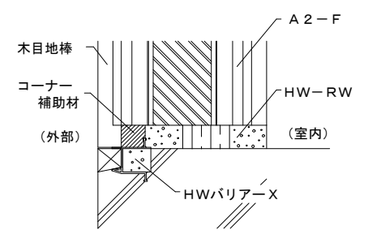
・HW補助材は、HWタイプ本体のスリット幅と同一幅を使用。

標準施工例







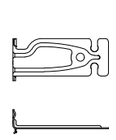


垂直－水平の納まり例

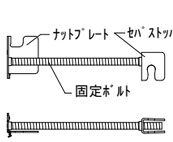
部材

補強金具

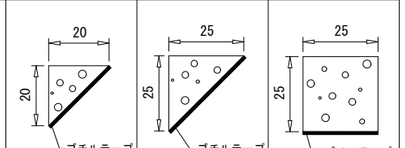
スプリングアングル



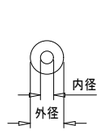
セパストッパー（セット）



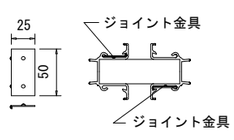
コーナー補助材



鉄筋養生カバー



（mm）

鉄筋径	内径	外径
D10	10	25
D13	13	28
D16	16	31

ジョイント金具